

上段の丘



一関市立川崎中学校 学校だより
令和7年4月18日 第2号
文責 校長 齋藤 真

修学旅行～自分の目で、新たな発見を探す旅～

3年生は、4月14日から16日まで、東京方面へ修学旅行に行っていました。修学旅行スローガンを『New Discovery (ニュー・ディスカバリー：新たな発見)』と掲げ、実際に自分たちの目で新たな景色を見て、出会う人々から思いを聞き、そこでしかできない体験をしたいと準備を進めてきました。

さて、実際どんな旅だったのか？今回は、引率した先生方にインタビューしましたので、修学旅行の写真と共に掲載したいと思います。ご覧ください。

引率長（高木副校長先生）から

川崎を離れ、東京で働く人の体験談を聞いたり、転職した人の話を聞いたり、見るだけではなく、将来について考える旅でもありました。観光だけでは終わらない、学びの旅でした。この修学旅行の経験から、目の前の物事に対して予想・予測し行動につなげる「想像力」と、失敗を他人事とせず、自分事として捉える「当事者意識」を身につけてほしいと感じました。



学年長 村上先生から

旅行全体を通じて、話を聞く姿勢が良かったです。キャリア講話は、ぜひこれからの皆さんの夢につなげてほしい。ディズニーランドでも、新幹線の中でも、色んな場面に「働くこと」を感じてほしいと思いながら引率していました。この旅で学んだ「おもてなし」を、『おもてなし返し』で後輩たちに、先生方に、家族に、地域に返すことができれば、この旅は成功です。

養護助教諭 加藤先生から

生徒の皆さんと積極的に関わり、この3日間で顔と名前を覚えることができました。規律ある集団行動、計画的に動く、挨拶の素晴らしさ、忘れ物チェック等、言わなくても行動する姿に3年生らしさを感じました。これまで知らなかったことを知る、良い機会だったと思います。



担任 工藤先生から

一人ひとりがルールについて考え、持ち物などについても係で決め、自主的に取り組んできた修学旅行。旅行中は、時間意識など改善が必要な課題も見つかった。最高学年として、しっかり向き合って改善していこう。

小中9年間、ずっと同じ仲間と過ごしてきた中で、忘れられない思い出に残る修学旅行であってほしい。今後の人生に生きる修学旅行であってほしい。